

2023 年 3 月 31 日

株式会社ダイナックス

ダイナックス、事業所内保育施設に太陽光発電システムを導入 ～CO2 排出量実質ゼロの保育施設へ～

株式会社ダイナックス(以下「当社」)は、千歳工場内の保育施設 ダイナックスこどもくらぶ(以下「こどもくらぶ」)に太陽光発電システムを導入しました。太陽光パネルを使った自家発電については、2023 年 2 月より試運転を行ない、2023 年 4 月より本格的に稼働開始致します。

当社は、2050 年にカーボンニュートラルを目指す取り組みを進めており、2030 年には 2019 年度比で温室効果ガス(GHG)排出量を 46%削減することを目標に掲げています。

本事業はその一環として取り組むもので、こどもくらぶの屋上部分に 54 枚の太陽光発電パネルを設置することで、年間 21MWh を自家発電し、11.5 トンの二酸化炭素(以下「CO2」)削減を見込んでいます。同施設では1年間で電力 17MWh、ガス 650m³ を使用しており、10.8 トンの CO₂ を排出しておりますが、本システムで発電した再生可能エネルギーで補える形となり、実質カーボンフリーを達成します。事業所全体で見ただけではカーボンニュートラルへの寄与が限られますが、従業員、お子様、保護者の方々に向けた実物大の教材として、環境教育・学習に活用することで、サステナビリティについての学びの機会を増やします。

また、災害時といった非常事態の際にも電力の確保ができ、保育所にいるお子様および、職員の安全確保、ならびにお子様を預ける保護者の方々により安心を提供いたします。

【太陽光発電システムの概要】

パネル	380 W/枚 × 54 枚=20.52kWp
パワーコンディショナー	16.5 kW
蓄電池	9.8 kWh
発電量	20,972kWh/年(すべて自家消費) ※施設使用電力の約 120%に相当
年間 CO ₂ 削減量	11.5 t-CO ₂
年間 CO ₂ 削減率	年間 0.03% (2019 年度比)

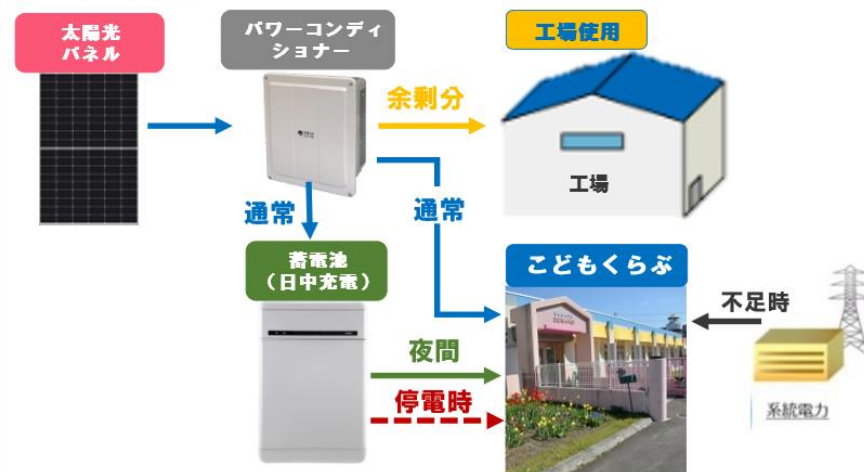
<外観写真>



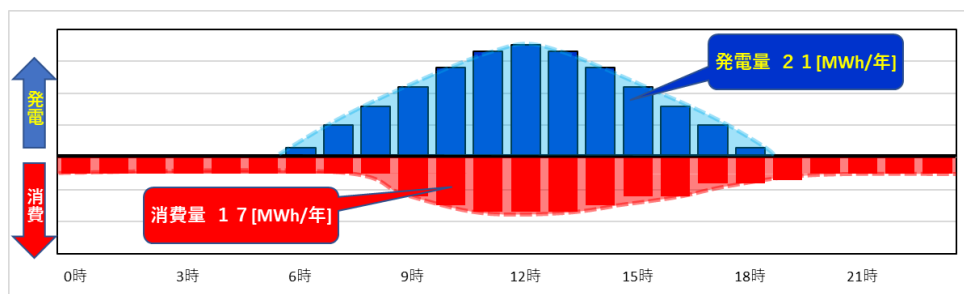
<電力フロー図>

【発電により削減するCO2>電気、ガス使用で発生するCO2】のため実質カーボンフリーを達成

システム概略



<屋根上太陽光発電量／園内消費量のイメージ>



<園児向け発電モニター>



※園児が見て楽しめるようなモニター画面を自社開発

当社は今後も再生可能エネルギーの導入をはじめ、環境に配慮した製品群の拡充、生産体制の双方からカーボンニュートラルに挑戦し、SDGs の理念に基づく「未来の社会づくり」に貢献して参ります。

【株式会社ダイナックス】

名称	株式会社ダイナックス https://www.dynax-j.com/
所在地	北海道千歳市上長都 1053 番地 1
代表者	代表取締役社長 伊藤和弘
事業内容	乗用車・商用車並びに産業用・建設機械用・船舶用の 湿式摩擦材、プレート等、摩擦機能部品の製造販売

【ダイナックスこどもくらぶ概要】

働くお父さん・お母さんを支援するため、2002年に事業所内保育施設を開園。2015年には千歳市の認可を受け市内の幼稚園と提携して専任の保育士、栄養士、調理師が配属されています。こどもくらぶは、当社の従業員以外の地域のお子様についても受け入れしています。



- ・定員:19名
- ・受入年齢:1歳~5歳
- ・開所時間:平日 7:45~19:00

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ダイナックス カーボンニュートラル推進部 舟根

代表 TEL : 070-1274-0932 E-mail : funane-t@mail.dxj.co.jp